

東京ミッドタウン八重洲



外観

東京ミッドタウンブランド3施設目として、2023(令和5)年3月にオープンした「東京ミッドタウン八重洲」。JR東京駅に直結する地上45階建て、多彩な要素で構成された大規模ミクスユース型プロジェクトである。



5F
イノベーションフィールド
内観

4F・5Fは、企業・アカデミア・スタートアップなどが集う、交流と創発の拠点「イノベーションフィールド八重洲」。5Fはビジネス交流ラウンジやハイブリッドイベントにも対応するカンファレンスなどで構成される。



5F
イノベーションフィールド
女性トイレ

ビジネスパーソン以外にも一般客も訪れることができる5Fのトイレは、内装にテクスチャのあるタイルを用いた華やかなイメージの空間となっている。



5F
イノベーションフィールド
男性トイレ

各コーナーとも共通して間接照明を効果的に用い、壁面に光を当ててことで空間に広がりを感じさせ、明るさと開放感を演出している。



4F
イノベーションフィールド
内観

4Fは、イノベーション創出に資することを目的としたテンポラリーオフィス、大小からなるカンファレンス、東京大学の都心サテライト拠点などから構成されている。



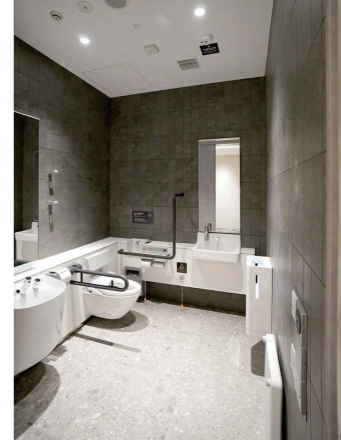
4F
イノベーションフィールド
トイレ①

ホワイエ付近に位置するトイレ①は、混雑緩和に対応するため器具数を充実。多様な利用者に配慮し、大便器ブースの各1ヶ所に手すりとベビーチェアを設置している。



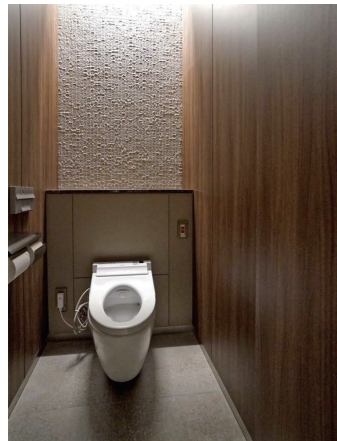
4F
イノベーションフィールド
トイレ②

入居テナントが自由に使うことができるテンポラリーオフィスやメインカンファレンス付近に設置されたトイレ②。落ち着いたトーンのタイルやカウンターなどを用い、上質で高級感のあるシックな印象となっている。



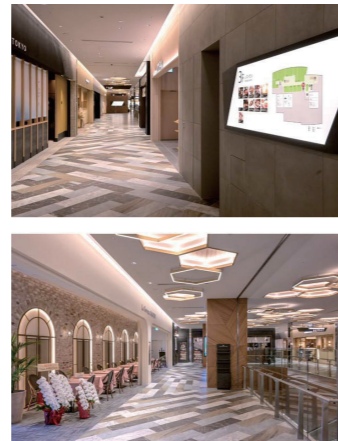
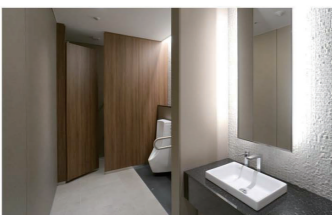
4F
イノベーションフィールド
トイレ②
バリアフリートイレ

将来を見据え、多様な利用者を想定し、車いす使用者やオストメイト、乳幼児連れなど、さまざまな利用者に対応できる設備を完備。ドアのスイッチは非接触での開閉も可能なタッチレスタイプを採用している。



4F
イノベーションフィールド
トイレ③

小空間のカンファレンス付近にあるトイレ③は、木目を基調とした落ち着いた空間。大便器ブース扉は、空室が確認できるとともに、未使用時に内部が見えないように、一定の角度で止まるように設定している。



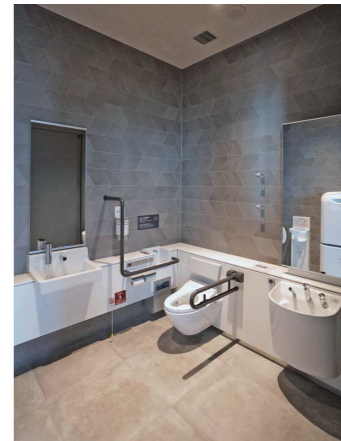
商業フロア 内観

B1FでJR「東京」駅と直結、B2Fにはバスターミナルが併設された利便性が高い全国への発着拠点でもある。低層階の商業フロアは、ジャパンブランドにこだわり、国内外から注目を集める店舗が集結した。



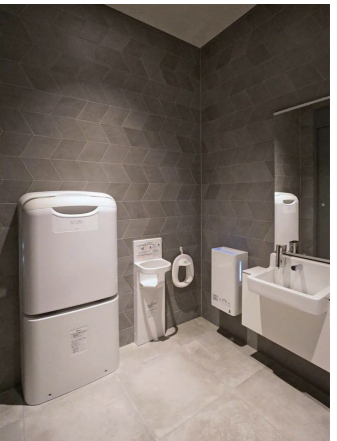
3F商業フロアトイレ

ライトグレーを基調とした上質な落ち着いた空間。洗面カウンターの鏡裏にほどこされた間接照明は、テクスチャのあるモザイクタイルに反射し、奥行き感のある洗練された印象をさらに高めている。



3F商業フロア
バリアフリートイレ

使いやすさと同時に空間としての統一感のあるデザインを実現した、フラットカウンター・バリアフリートイレパックを採用。乳幼児連れの設備も完備されている。



東京ミッドタウン八重洲



2F商業フロア
女性トイレ



女性トイレにはすべてのフロアにおいて、スタイリングコーナーを設置。鏡は隣人の映り込みに配慮し、個別鏡となっている。



2F商業フロア
男性トイレ・
バリアフリートイレ



ユニバーサルデザイン配慮として、男女トイレとも大便器、小便器、洗面器の各1ヶ所に手すりを設けている。バリアフリートイレにも、さまざまな利用者への配慮が整えられている。



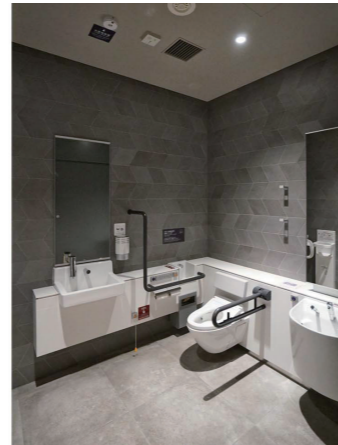
B1F商業フロア
女性トイレ



タンク式と同じ給水口径15A配管で、フラッシュバルブ式同様の連続洗浄ができる壁掛大便器セット・フラッシュタンク式を設置している。大便器後方には、荷物を置くスペースやフックを用意。



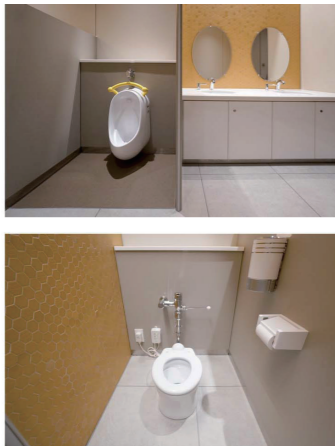
B1F商業フロア
男性トイレ・
バリアフリートイレ



男性トイレには、手洗い後の床への水垂れを抑えるため、洗面器の間にクリーンドライ(ハンドドライヤー)を設置。また、小便器や大便器は、床の清掃性に優れた壁掛式を採用している。



B1F商業フロア
キッズトイレ



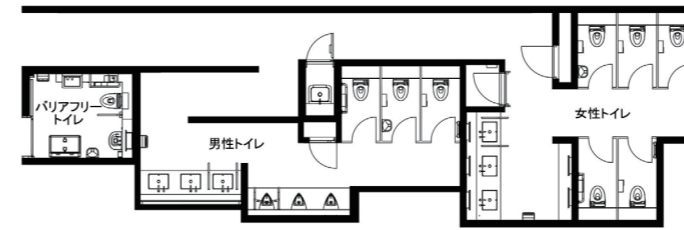
B1Fには、小さなお子様連れに配慮し、キッズトイレやベビー休憩室を設置。キッズトイレは、仕切り壁を低くし、ご家族が様子を見守りながら安心して使用できるよう配慮されている。



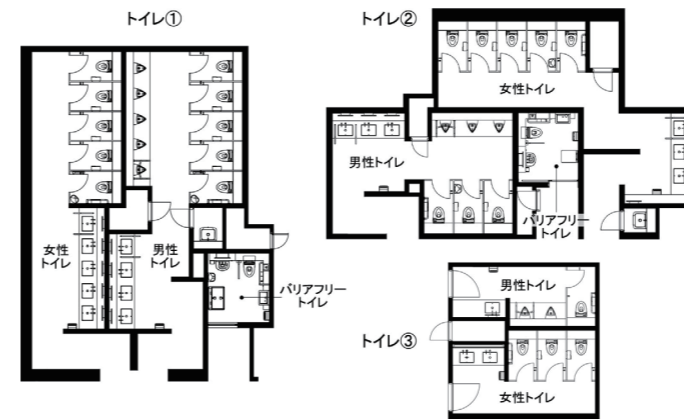
B1F商業フロア
ベビー休憩室



キッズトイレに隣接するベビー休憩室には、おむつ交換台や授乳室、調乳機など、さまざまな乳幼児連れが快適に利用できるように配慮した機能が完備されている。



5F
イノベーションフィールド
トイレ図面



4F
イノベーションフィールド
トイレ図面



商業フロア
トイレ図面

水まわりの特長

建物の特徴

「東京ミッドタウン八重洲」は、六本木、日比谷に続く東京ミッドタウンブランド3施設目となる地上45階の大規模ミクスユース型プロジェクト。再開発が進む日本の玄関口・東京駅の八重洲に先陣を切ってグランドオープン。商業、オフィス、ホテル、バスターミナル、小学校など多彩な要素で構成され、4F・5Fは、ビジネス交流施設「イノベーションフィールド八重洲」、低層階の商業フロアは、国内外から注目を集める店舗が出店している。施設コンセプトは「ジャパン・プレゼンテーション・フィールド ～日本の夢が集う街。世界の夢に育つ街～」。世界中・日本中から人や情報、モノ・コトが集まり、交わり、新しい価値を生み出し、世界に向けて発信していく街づくりを目指している。

水まわりの特長

同施設は、B1FでJR「東京」駅と直結し、B2Fにはバスターミナルを併設。国内外への発着拠点としても利便性が高い大規模複合施設であり、不特定多数のお客様が利用することが予想されるため、水まわりにもさまざまな利用者への配慮が生かされている。商業施設はもちろん、ビジネスパーソンの利用が中心となるビジネス交流施設「イノベーションフィールド八重洲」においても、車いす使用者やおストメイト、乳幼児連れなど利用を想定した設備を完備。また、すべての女性トイレにはスタイリングコーナーを備え、B1Fにはキッズトイレとベビー休憩室を配置した。トイレが設置されるスペースそれぞれにふさわしく演出された内装のもと、快適性と利便性が備わった魅力あふれる上質な空間を提供している。

建築概要

名称	東京ミッドタウン八重洲
所在地	東京都中央区八重洲2-2-1
施主	八重洲二丁目北地区市街地再開発組合
基本設計	株式会社日本設計
実施設計監理	株式会社日本設計
実施設計	株式会社竹中工務店
施工	株式会社竹中工務店
竣工年月	2022年8月
敷地面積	約13,433㎡
建築面積	約11,618㎡
延床面積	約289,750㎡
構造・階数	鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造・ 地上45階、地下4階、塔屋2階(八重洲セントラルタワー) 地上7階、地下2階、塔屋1階(八重洲セントラルスクエア)

おもなTOTO使用機器

- 壁掛大便器セット・フラッシュタンク式:UAXC3CL1BN
- ウォシュレットPS (擬音装置「音姫」付きエコリモコン):TCF5524Y
- 棚付二連紙巻器:YH系
- 紙巻器:YH51R
- 自動洗浄小便器:UFS900JS
- 洗面器:LS717CM、LS716
- 台付自動水栓:TLE25*06J系、TENA41A
- 自動水石けん供給栓:TLK07S02J*系
- クリーンドライ(ハンドドライヤー):TYC420W
- フラットカウンター・バリアフリートイレパック:XPDA0LS*211WWG系、XPDA0RS*211WWG系
- 幼児用大便器:CS300B
- 幼児用小便器:U310GY
- ベビーシート:YKA24S
- ベビーチェア:YKA15S、YKA16S
- フィッティングボード:YKA41R